

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12010280

政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	[全体計画内容] ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12 学校教育の充実	事業優先度	A	
単位施策	5 高校への継続的な支援	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	雄武高等学校振興事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	町外の生徒数		#N/A	
事業目標	20人/年	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	有 雄武高等学校遠距離通学生徒通学費等補助金交付要綱	
住民協働		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	・遠距離通学生徒通学費等補助 20人/年	・遠距離通学生徒通学費補助 5,407千円	・遠距離通学生徒通学費補助 6,415千円	・遠距離通学生徒通学費補助 6,416千円	・遠距離通学生徒通学費補助 6,416千円	・遠距離通学生徒通学費補助 6,416千円
	・部活動関係振興事業補助 1,000千円/年	・部活動関係振興事業補助 1,000千円	・部活動関係振興事業補助 1,000千円	・部活動関係振興事業補助 1,000千円	・部活動関係振興事業補助 1,000千円	・部活動関係振興事業補助 1,000千円
計 画 事 業 費	事業費(千円)	36,070	6,407	7,415	7,416	7,416
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	36,070	6,407	7,415	7,416	7,416	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	6,354	6,354	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	6,354	6,354				
関 連 事 項	特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】	遠距離通学生徒通学費補助 部活動関係振興事業補助				
		※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	20人	20人	20人	20人
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	99%	0%	0%	0%
	全体達成率	18%	18%	18%	18%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆				

事業名 雄武高等学校振興事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課	課長 石井弘道
	評価者 作成者 職氏名	教育振興課教育総務係	係長 武藤知憲

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武高等学校	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	町外生徒数の維持								
【抱える課題やニーズは】	生徒数の減少から、高校の存続が問題視されている。	指標(指標計算式/解説)	目標年度及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町外からの生徒数を確保することにより、入学数減少の抑制を図り、生徒数を維持する。	① 町外の生徒数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成25年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>20人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>18人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>90.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成25年度	目標値	20人	実績値	18人	達成度	90.0%
目標年度	平成25年度										
目標値	20人										
実績値	18人										
達成度	90.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果＝目的	生徒数を維持することにより、地域の学校として存続が図られる。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成25年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成25年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成25年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	町外生徒への通学補助	町外生徒21人に対し、バスの定期代及び下宿費の補助を行っております。									
	部活動の支援	各部活動における遠征宿泊の一部補助及び吹奏楽部の楽器購入等に係る補助を行っています。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	雄武高等学校を地域の学校として存続させるためには、入学者数の減少の抑制や魅力ある学校づくりの推進が重要であり、引き続き、行政支援が必要であると判断します。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	町外生徒への通学費等の補助により、町外からの生徒数が確保されていると判断します。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町外生徒については、補助の有無を入学の際の判断材料としているものと思われ、今後も事業継続の必要があり、現状は、コストに見合った効果が得られていると判断します。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

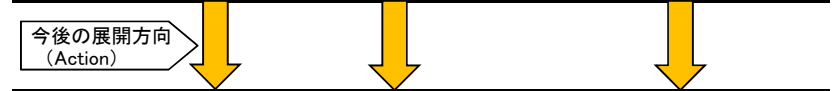
公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	通学費補助については、生徒の一部に対しての補助がありますが、生徒数の維持を図らなければ、高等学校の存続に大きく影響することから、公平性の観点からは問題がないと判断します。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
雄武高等学校の生徒数を維持するとともに、魅力ある学校づくりを推進し、地域の学校として存続させるための支援であり、計画どおり事業が進んでいます。		



継続/現状維持		
北海道教育委員会が策定する「公立高等学校配置計画」の今後の計画が不透明な中において、雄武高等学校の存続を図るためには、生徒数を維持することが不可欠であり、今後も計画通り事業を進めることが適当であります。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止